



「学ぶ楽しさ」に子どもたちの笑顔が満開！

—平成30年度 手作り府民講座「親子おもしろ学び教室」—

12月8日(土)、総合教育センター北部研修所で「平成30年度 手作り府民講座『親子おもしろ学び教室』」を開催しました。

オープニングで登場したのは Pepperでした。ユニークなしぐさと語り口に、子どもたちはたちまちに引き付けられたようです。



今年度新設のドローン体験コーナーでは、**入門用ドローンの操作**に子どもも大人も興味津々。空中で浮かぶホバーリングに挑戦しました。また、**大型ドローンのデモ飛行**を通して災害調査で活躍するドローンのことを多くの参加者に知ってもらいました。

同じく新設のプログラミング体験コーナーでは、タブレット端末の操作を教わりながら、低学年の子どもたちも**マイクロビットでハート型を点滅させるなど簡単なプログラミング**を楽しみました。

全13のコーナーで学びを楽しむ子どもたちの姿が見られ、帰るときには口々に「楽しかった」「来年もやってほしい」と笑顔で話していました。

参加総数
569名！

子どもたちの楽しい学びを支えた 府立学校生徒のがんばりに拍手！

様々なコーナーを運営し、子どもたちの楽しい学びを支えたのは、**ボランティアとして参加した高等学校、特別支援学校の40名を超える生徒たち**です。

「海を知ろう・学ぼう・楽しもう！」のコーナーでは、**海洋高等学校**の生徒たちがコースターづくりなどを通して様々なロープワークを伝授。**工業高等学校**のコーナー「ロボットを動かそう」では、生徒たちが参加者一人一人にロボットの操作を丁寧に教えていました。また、今年度新設の「ポッチャ」のコーナーでは**舞鶴支援学校中学部**の生徒たちが、全体の進行や審判などで大活躍。それぞれのコーナーで大きな歓声が響き渡りました。

お兄さんお姉さんの笑顔とがんばりに、体験した子どもたちも「とっても楽しかった！」「楽しかった！」と大喜び。子どもたちにも、ボランティアの生徒たちにも素晴らしい「学び」が生まれました。



海洋高等学校
「ロープワーク」



工業高等学校
「ロボット体験」



舞鶴支援学校
「ポッチャ体験」

特集!!

効果的な振り返りと目標設定のポイント

～3学期は新学年の「ゼロ学期」～

1年のうち最も長い2学期が終了します。新年度がスタートした4月からこれまでの間、学級づくりや授業づくりについて、様々な実践に取り組まれたことと思います。今回の「特集!!」では、そうした実践を振り返り、評価し、効果的な3学期の目標設定につながるいくつかのポイントを紹介します。

様々な視点を活用

評価する際は自分自身だけでなく、**様々な視点からの評価**を取り入れましょう。他の先生方や保護者の方、児童生徒…。アンケート等を活用することも効果的な評価につながります。

子どもたちの「強み」を見る

「評価」となるとどうしても「できていないこと」に目が向いてしまいがちです。もちろんそれも必要ですが、「**できるようになったこと**」などの『**強み**』にも目を向けましょう。

状況に合わせた目標設定

目標設定の際は児童生徒の**状況に合わせて設定**しましょう。成功体験を重ねて自信を高めたいときは課題を克服することよりも、強みを伸ばすほうが良い時もあります。

3学期は**次の学年の「ゼロ学期」**と呼ばれることがあります。4月から児童生徒が求められる力を想定して、次につながる目標を設定しましょう。約3か月の短い期間ではありますが、これまでの実践ではぐくんできた様々な力を活用する**「発展」の学期**となるよう、実践の評価と目標設定に取り組んでください。

学

び

の

直

送

便

11月に総合教育センターでは31講座を開催しました。今回の「学びの直送便」ではその中から「伝統」から学ぶ2講座と「主権者教育」に関する講座を紹介いたします。

「守る」ための「新しい」取組の必要性 11/2

企業から学ぶ特別講座－伝統を守る経営哲学に学ぶ－（企業連携）

亀屋良長株式会社 吉村良和 八代目代表取締役
アクセルコンサルティング株式会社
岡原慶高 代表取締役

200年以上の歴史を持つ京菓子司、亀屋良長株式会社 吉村良和 八代目代表取締役から「伝統の技・味を守るための変革」と題して御講義いただきました。また、講義を踏まえて、アクセルコンサルティング株式会社 岡原慶高代表取締役に研究協議を行っていただき、教育活動の活性化につながる取組について考えを深めました。

伝統的なものという印象が強い和菓子。しかし、外来文化の影響を受け、当時の最先端の素材と技術を取り入れてきた歴史があるとお話いただき、**伝統を守るための新たな取組**として様々な事例を紹介していただきました。

教育活動の活性化に向けて、**古くから伝えられてきたものを生かしつつ、改善する**視点を企業から学ぶ講座となりました。



吉村良和 八代目代表取締役

伝統を守るための新たな取組

「女性や若手等様々な人々の登用」
「他者とのコラボレーション」
「全く異なる業種の力の活用」

「伝統」の体験から学びをつなぐ 11/27

京の教育「みやび」講座

平安雅楽会
朗読家・女優 山下智子

「雅楽のみやび」では、大正5年に創立された京都で最も古い雅楽団体である平安雅楽会を講師に招き、源氏物語にも登場する『青海波』などの雅楽演奏や歴史、楽器についてお話しいただきました。世界最古のオーケストラと言われる**雅楽の魅力**について幅広く学びました。

また、「京ことばのみやび」では、源氏物語全五四帖の京ことばによる連続語り会を日本各地で開いておられる山下智子様にお話しいただきました。『紅葉賀』の語りや京ことばの解説、「重ね」の表現など**古典の面白さ**や**京ことばの美しさ**について学びました。

教科等横断的な「学び」

音楽

雅楽

『青海波』

国語

源氏物語

『紅葉賀』



平安雅楽会



山下智子 様

子どもたちの「将来」に目を向ける大切さ 11/30

主権者意識をはぐくむ授業づくり講座

文部科学省初等中等教育局
小栗英樹 教科調査官

高校教育課藤倉指導主事から府の主権者に関する教育の現状等について講義いただいた後、府立高等学校から実践発表をしていただきました。

実践発表では「**主権者に関する教育とは『生きる術をはぐくむ教育』『より善く、より幸せに、より豊かに生きるための教育』である**」と話していただき、**子どもたちの「将来」に目を向ける大切さ**を学びました。



小栗英樹 教科調査官

主権者意識をはぐくむための「学び」

「正解が一つに定まらない問いに取り組む学び」

「学習したことを活用して解決策を考える学び」

「他者との対話や議論により、考えを深めていく学び」

教育内容を組織的に配列して取り組む

小栗教科調査官からは「人の役に立つ人間になりたいと思うが、自分の参加によって社会を変えることはできないと考える子どもたちが多い」という現状を踏まえ、**主権者意識をはぐくむための「学び」と重要性**についてお話しいただきました。